

津久戸

令和4年11月1日

11月号 新宿区立津久戸小学校

全力で取り組む姿

校長 牧田 健一

先週の運動会では、多数の保護者の皆様に、ご観覧いただきありがとうございました。今年度は、入れ替え制とはいえ、ご家庭の参観人数制限を行わず、各学年3種目と、コロナウイルス感染拡大前に近い形で実施できました。皆様の大きな声援と拍手は子供たちにとって大きな励みと自信につながりました。重ねてお礼お申し上げます。

さて、今年の運動会では、表現種目を実施しませんでした。それに代えて、全員リレーに取り組みました。一斉休校から昨年度までは、制限が多く大切な経験をさせることが難しい期間でした。その間、大きな声でお互いを励まし、応援するという、勝ったことを喜び、負けたことを悔しがることなど、成長する上でとても大切な経験をさせてあげられませんでした。そのようなこともあり、今年の運動会は、子供たちに、運動を通してチームが一丸となり、全力で競い合う楽しさを子供たちに体験してほしいと考えました。高学年のリレーの練習では、ゴール後に倒れこむ子供もいるくらい、全力を出し切っていました。その後、敵、味方問わずに大きな拍手が起きる光景を見ました。歯を食いしばり、競い合う姿、お互いのパフォーマンスに称賛の拍手を送ること、とても美しい光景でした。

全力で競い合う姿はとても美しく、人に感動を与えます。トップアスリートのハイレベルなパフォーマンスではなくても、全力で競い合う姿に人は感動するものだと思います。今回の運動会で、皆様に感動を送ることができたでしょうか。子供たちは少なくとも、その学年なり、子供なりの全力は出し切りました。そして、高学年は、全力を出し切った者にしか味わえない感情を運動会で味わうことができたのではないかと思います。

今月は、阿波踊りもあります。笑顔いっぱい、元気いっぱいの子供たちと津久戸小学校の教育に今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

クラブ活動

クラブ活動は、異年齢の児童による自発的、自治的な活動を通して、共通の興味・関心を追及する活動です。津久戸小学校には、「科学」「創作」「スポーツ」「家庭科」「パソコン」「ゲーム」「日本文化」「ダンス」の8つのクラブがあり、4年生から6年生までの児童が活動を楽しんでいます。

昨年度は緊急事態宣言による活動休止の期間もありましたが、現在は各クラブとも6年生を中心に活動内容を話し合い、主体的に活動しています。特に、今年は日本文化クラブが復活し、外部の先生を招き、日本の文化に触れながら楽しく活動しています。

今回は、各クラブの最近の活動内容を紹介します。

- ・科学…みんなで企画し、カルメ焼きを作りました。
- ・創作…陶芸をして、コップ作りをしています。
- ・スポーツ…校庭を広々使い、全力でサッカーをしました。
- ・家庭科…展覧会に向けて、クッションを制作中です。
- ・パソコン…簡単なゲーム作りやデジタル作曲に挑戦中です。
- ・ゲーム…和気藹々と、人狼や人生ゲームをしました。
- ・日本文化…講師の先生に教わってお抹茶を点てて飲んだり、百人一首をしたりしています。
- ・ダンス…12月の発表に向けて、チームで練習中です。

現在、コロナ禍による様々な制約の中、子どもたちは前向きに取り組んでいます。今後も感染予防対策をし、各活動が充実するように努めてまいります。

ふれあい月間・「いじめ」について

「ふれあい月間」は、学校がいじめ等の問題行動の状況について総点検を行い、その未然防止や早期発見、早期対応につながる具体的な取り組みを行うことを目的としています。「いじめ」の定義は法で規定されています。

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

「いじめ防止対策推進法第2条」 令和元年5月24日最終改正

相手が嫌だと感じる行為、また、「嫌ではないよ」と意思表示をしても、行為そのものが、人権意識を欠く言動であった場合について、指導しております。「いじめ」はどの学校どの学級、どの子どもにも起こり得るとの認識にたち、いじめの早期発見に努め、学校全体で組織的に取り組んでいきます。ふれあい月間でなくても、日常的にご家庭からの相談に対応しています。また、学校からご家庭にご相談させていただくこともございます。学校と家庭で連携を取りながら指導に当たられたらと思っています。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。

「あの展覧会」から3年…～図工室より～

今年度は、2月に展覧会が予定されています。思い起こせば3年前、新型コロナウイルス感染拡大が始まった第1波直前の頃が、前回の展覧会の時期とかさなりました。そのため、保護者の皆さんとのワークショップは中止となりましたが、分散鑑賞や児童のみでワークショップを行うなど、校長先生や教職員の皆さんの迅速な対応により、無事に終了することができました。

残念ながらコロナ禍がまだ続いているため、苦渋の決断で、今回も保護者の皆さんとのワークショップは、見送ることとしました。しかし、造形活動（えがく・つくる・みる・かんじるなどの活動）を通して、実りある行事となるよう現在計画を具体化しています。

今回のテーマは「えがく・つくる・思いひろがる」です。今なお、子どもたちも翻弄されているコロナ禍での「思い」をヒントにした題材や、津久戸小の研究テーマの観点のひとつ、「食育」と関連させ、「食べ物」をテーマにした題材にも取り組んでいます。

コロナ禍での開催となりますが、展覧会を通して、日ごろの子どもたちの姿を感じて頂けたら幸いです。多くの皆さまのご参観をお待ちしております。



11月の生活目標

『きまりよい生活をしよう』

- ・校帽や名札をきちんとつけよう
- ・外で元気に遊ぼう
- ・力を合わせて行事を成功させよう
- ・決められたことを守ろう

登下校時に校帽をかぶることは、津久戸小学校の児童であることを地域の方々に知らせ、子どもたちを見守っていただくことにもつながっています。また、通学路で何かあった時に、校帽をかぶった高学年の児童が助けになることもあると思います。全校児童の安全を守るために家を出る前に「校帽はかぶった？」と一声掛けていただくと助かります。 (生活指導部)

【お願い】

- 同居するきょうだい又は親族に風邪症状がみられた場合、PCR検査を受ける前であってもお子様の登校は控えてくださるようご協力願います。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、お子様のことで不安等がありましたら、担任又は管理職にご相談ください。

<体育学習における服装について>

朝晩は冷え込むようになってきました。日によっては、日中も気温が上がらない日が今後出てくるかと思います。体育の学習時に上着を着る場合は、以下の点に留意した上着を体育着と一緒に持たせてください。

- ・ファスナーやフードのないもの
- ・家から着てくる衣服ではなく、体育の際の上着として持たせてください。
- ・体育着の下にタイツを履いたままで学習はしません。タイツを履いた日に体育がある場合は、体育用靴下も持たせてください。

